Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.54	0.29
JPY/THB	0.2361	0.0002
USD/JPY	146.29	1.08
EUR/THB	38.37	0.17
EUR/USD	1.1112	-0.0038
USD/CNH	7.147	0.014
SGD/THB	26.33	0.12
AUD/THB	23.15	0.06
USD/INR	83.95	0.02
USD Index	101.51	0.47

Bond

5544443333322221 55444433333222221

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.309	-0.016
10Y (THB)	2.563	-0.007
5Y (USD)	3.717	0.060
10Y (USD)	3.852	0.051

5Y Bond (Blue:THB, Red: USD)

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,478.9	-29.5
WTI (Oil)	73.01	1.08
Copper	9,130.5	-129.5

Stock

90

85

80

75

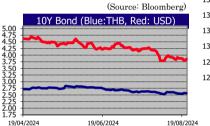
19/04/2024 19/05/2024

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,341.03	3.20
NIKKEI (JP)	38,211.01	259.21
DOW (US)	40,712.78	-177.71
S&P500 (US)	5,570.64	-50.21
SHCOMP (CN	2,848.77	-7.81
DAX(GER)	18,493.39	44.44

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(849)	-1605.9
Bond net flow	(1,035)	-4728.0
,	*aomnorod with	provious dov

pared with previous day



WTI (Oil)

18/06/2024



USD/THE

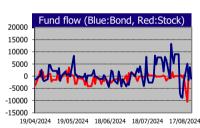
MIZUHO

37.50 37.00 36.50 36.00









Yesterday's market summary

19/05/2024

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは上昇。34バーツ台前半でスタート。タイ中銀MPCのイベントを通過し、ドル買いが先行したが、23日のジャクソンホール会議でのパウエル FRB議長による講演を控える中で伸び悩み、バンコック引けにかけては上値の重い推移となった。NY時間では、米失業保険継続受給者数が予想を下回ったことや、米8月S&Pゲローバル米国サービス業PMIが予想を上回ったことを受けて、ドルバーツは一時34バーツ台半ばまで上昇したが、その後は一服。引けにかけて米金利の上昇とともに反発する場面はあったが、上値は抑えられ、34.54レベルでクローズ。

18/07/2024

17/08/2024

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。145円台前半でスタートした後、日経平均株価の上昇を横目に東京時間午前11時頃にかけて145円台後半までじりじり上昇した。しかしその後は下落に転じ、結局145円台前半のレベルで海外に渡った。欧州時間では23日に日米中銀高官発言を控えており、ドル円は堅調推移し、146円ちょうど付近まで上昇。NY時間午前中に米失業保険継続受給者数や米8月S&Pケローバル米国サービス業PMIの結果が好感され、ドル円は146円半ば付近まで上昇したが、その後は反落、146円を割り込んだ。午後に米金利の上昇に伴い、再び146円半ば付近まで値を戻すも、引けにかけて反落し、146.29レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

本日23日米国時間、パウエルFRB議長はジャクソンホール講演にて、米金融政策の行方を示唆する可能性があり、注目が高まっている。本日の講演に先駆けて、昨日米労働統計局が年次ベンチマーク改定の速報値について興味深いデータを発表した。発表によると2024年3月までの1年間の米雇用者数の伸びは、従来発表よりもはるかに低いものだった可能性が高く、09年以来の大幅下方修正となるという内容だった。1年間の雇用者増は81万8000人下方修正され、1ヵ月当たりでは約6万8000人減となる。ベンチマーク改定は毎年行われているが、今回の改訂は労働市場が当初の想定よりはるかに早い段階から減速していた可能性を示唆しており、FRBが利下げで後れを取っているとの懸念が強まってもおかしくない内容である。また、インフレが鈍化している中、FRB当局者の関心が雇用へシフトしているシグナルとも受け取れ、9月利下げを強力に後押しする材料である。スワップ市場では、9月から年末までに1約100bpの利下げを織り込んでいるが、パウエルFRB議長の講演内容を注視する必要があろう。(前川)